



# 週報

■10月は、『経済と地域社会の発展月間』

第1496回例会 2017年10月12日 Vol.32/No.14

## ■本日の例会／第1497回 平成29年10月19日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長
- 米山奨学プログラム・黒木雄一 委員長
- 会員卓話・長岡紀行 会員

## 【出席率状況報告】

- ・会員数……………54名
- ・出席者……………30名
- ・欠席者……………24名
- ・出席率……………56.60%
- ・9/28の修正出席率…79.63%

## ■会長挨拶

田中 寿 会長



経済と地域社会発展月間ですので皆さんもご存知の、大分県湯布院温泉の再開発の話をしてみたいと思います。

ある時、海外視察のお供で湯布院の旅館組合の皆さんとドイツの南部にある黒い森と言われる原始林の近くにある、バーデンヴァイラーやバーデンバーデンと言う温泉保養地を訪ねる機会がありました。湯布院温泉復活のきっかけを見出した温泉リゾートです。

昭和40年代半くらいから、杉乃井ホテルや霧島の林田観光ホテル(現岩崎ホテル)等に代表される大規模ホテルがもてはやされた時期がありました。当時、湯布院はと言えば小規模の昔からの旅館しかないような温泉郷だったために、苦肉の策として、学生の合宿や小学校の修学旅行などの誘致で凌いでいるような状況が続いていました。

そんな時期に、湯布院の亀の井別荘と言う名門の旅館がありますが、そのオーナーである中谷健太郎氏は何とかしたいとヨーロッパの温泉保養地として有名な、南ドイツのバーデンヴァイラーやバーデンバーデンを回りアイデアを探し求めて回ったそうです。

そこでの体験や風聞を機に思い至ったのが、湯布院の自然と温泉を基本にした地域おこし湯布院温泉の再興を模索したという事です。

まず温泉と言えば宿を何とかしたいという想いで、同業他社の仲間たちに呼びかけ旅館と温泉を売り物にしたいと考えたのですが、ハードの

整備に巨額の資金が必要になるわけで、まず資金と言う壁にぶつかってしまった訳ですが、そこで彼は自らが同業他社の経営者と銀行へ同行して、頭を下げ資金の工面に走り回ったりするなど、家業を継ぐ前に彼は東宝映画に居たこともあり、マスメディアで取り上げてもらう事を思い付きいろいろと手を尽くして、あの有名なアンアンに特集されたことがきっかけでブレイクし、今では全国に指折り数える温泉地として復活したのはご存知の通りです。ロータリーの職業奉仕の解釈は多々あるようですが、自身のおかれた業界を活性化し地域社会と経済を発展させる一助とする事もロータリーの社会貢献であり職業奉仕ともいえるのではないのでしょうか？

## ■幹事報告

生駒俊明 幹事



川原篤男ガバナーエレクト壮行会の案内が届いております。

国際研修協議会が1月14日よりアメリカサンディエゴで開催。

会長幹事をはじめ多くの参加をお願いいたします。

- ・29年11月25日(土) ホテルマリックス 19時～
- ・10月19日(木) にガバナー公式訪問前クラブ協議会を行います。委員長様が欠席の方は代理をお願いいたします。

宮崎観光ホテル 東館2階 日向 19時～  
・11月2日(木) ガバナー公式訪問があります。例会終了後クラブフォーラム、記念写真を行いますので100%出席をお願いいたします。

## ■2016年～2017年度決算報告



片木重光 会員

2016年7月～2017年6月までの会計において一般会計、特別会計の監査にあたり通帳と支出証明書に相違ありませんでした。

## ■米山奨学プログラム 黒木雄一 委員長



本年度、ロータリー米山記念賞学会は財団設立50周年を迎えています。我がクラブからは、秦創立会長が財団の理事として財団運営の重責を担っていらっしゃいます。

この事業の最大の特徴は経済的な支援のみならず、ロータリーの組織を使って「世話クラブ、カウンセラー制度」を設けて奨学生を物心両面から支援を図っていることです。幸いなことに私たちは、昨年はバトームンクさん、そして今年はハナさんと2年連続でカウンセラーをお引き受けするチャンスに恵まれました。会員の皆様にはハナさんとの交流を通して米山事業の理解を深めていただき、寄付を含めたご協力をよろしくお願いたします。

## ■会員卓話 長岡紀行 会員



最近新人の方が増えて何故台湾と短期留学をうちのクラブが行っているか、また資金はどこから出ているのか？いつまで続けるのかなどの質問を受ける事があるので、この制度の経緯を今日は、お話したいと思います。

これはそもそも当クラブの創立五周年の記念事業として発表された、くすの木人材育成基金と言うものがありました。これは、十年間で(2000年渡辺年度まで)一千万円を貯め(一年度で百万円)、それを基金として運用し、毎年教育者(学校の先生)を国内・海外研修に派遣すると言う目的で設立され、この目的為、同時にくすの木人材委員会も設立されていました。

何故一千万円で教育者の研修費用が賄える

かと言いますと、この時の時代背景が、金利も高く、東京証券の支店長も会員で、新発社債等で年間10%の運用益が見込まれていた。この運用益100万円でこの事業を継続するつもりでありました。

しかしながら、会員の減少や経費増などにより現実には、10年では一千万円を貯めることが出来ずまた、バブルの崩壊により株価は暴落、銀行金利も0に近くなり基金としての運用は実現不可能となりました。

私の前の三輪年度のときに一千万円貯まり私の年度のとき(2001-2002)、運用開始でしたが、先ほどの理由により何も手につけられないじょうたいでした。

宮崎市とバージニアビーチ市姉妹都市になりその時当クラブと友好クラブになったケープヘンリーRCから短期交換留学生の話が新田会員に持ちかけられ、当クラブとして検討した結果、ロータリーの交換留学生は望みが薄いインターアクトクラブのある日章学園の生徒を出そうと言うことになり、その資金として「くすの木人材育成基金」を使用してはどうかと提案があり、臨時総会を開き会員に図ったところ、くすの木人材の設立趣意書にある教育者にプラスしてくすの木人材育成基金の趣旨を逸脱しないようにしてその金額の使用は、当該年度の理事会に一任するとなったが、その打ち合わせを兼ねてケープヘンリーRCから人が宮崎に来るときに、9.11事件が起きでこの案件は没となりました。

その後この資金は使われることなく、くすき人材育成基金として別会計で10年間ほったらかしになっておりました。秦ガバナー年度に大勢で地区大会に参加してくれ、交流のあった、台湾龍山ロータリークラブが翌年の鹿児島地区大会に来られた際に、その時の会長であった、アポロ氏、及び時期会長パワー氏に短期交換留学のプログラムを相談した所、良い方向で検討するとの返事を貰い、当時の田島会長及び江島25周年実行委員長にこのプログラムを25周年事業として実行して頂きたいと提案した所、理事会で承

発行/ **宮崎中央ロータリークラブ**

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288  
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)  
会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明

認をもらいました。ちょうど私がくすの木人材育成委員会の委員長の時でした。

当初、春休みにインターアクト生を留学対象と考えていましたが、なにせ相手の有る事で龍山ロータリーと打ち合わせをしている内に時期がずれると共に最初は、色々な意味でわがクラブのロータリアンの子女がベターだと考え、翌年から、夏休みに実行するようになりました。次の年からは海洋高校のインターアクト生をと、考えておりましたが、学校側が、乗り気でなく特に夏休み期間は学校側として受かり知らぬことという話で翌年からも当クラブの子女となったのですが、若い子供をお持ちの会員が少なく、人員が集まらなく会員の社員の子女まで募集を広げることもありました。

ここらかは、私の個人的感想ですが、何年かするうちに龍山RCの方も人員が集まらず、中学生が来たりまた、内容も子供のお世話と言うような有様になり、有意義な留学とは言えない状態が続いていたようにも思います。ただ、松田さんのお子さんのようにあれが縁で台湾に正式に留学される方もいてある程度の成果はあったと思います。予算も年間50万円を使い切るようになり少し考えを理事会の方で検討してもらったよう提案をしました。ここ2年位はローターアクトの学生ならある程度大人と言う事でほったらかしでもいいし、アパート暮らしで有ればホームステイもいらなし、接待もいらなしと考えていましたが、あまりそれもうまくいっていないと思います。聞くところによりますと、龍山RCも考慮中という事で、7年位の時間がたちお互い再度話し合う時期に来ているのかなと言う思いがあります。最近委員会の活動内容があまり見直されていないような、気もします。全て前年の引き継ぎで新しいプログラムが少ないような気がしているのは、私だけでしょうか？多くの新人参加と言う事でクラブフォーラムでも開いて、広く意見を交わすのも良いことだと思っております。

## 出席委員会報告

片木重光 委員

### ◆9/28メイクアップ者名 (敬称略)

黒木雄一、新地康宏、秦喜八郎、平松 寛、松山春喜

## ハッピーボックス (敬称略)

●片木重光…延岡学園に行っております孫が、先日行われました野球の宮崎地区大会にて優勝いたしました。いつも応援に来ていただいている竹内会員の応援のおかげです。ありがとうございます。

●糸数智美…九月には誕生日、そして十月十日には結婚記念日にきれいなお花を届けて頂き本当にありがとうございました。「腐れ縁」の夫婦も、三十三年で熟成され、なかなか「いいあんばい」になって来ました。これからも「豆腐よう」、「ブルーチーズ」を目指します。今後ともよろしく願います。